

このシートは、入学及び進級に関して、本人や保護者の不安を解消し、新たに子どもを迎える先生に、子どもに関わる指導や支援のポイントを伝え、新しい生活が円滑にスタートできるようにするために作成するものです。
作成に当たっては、本人や保護者と十分に内容を協議し、指導や支援について合意形成を図ります。

引継ぎシート幼保版 (●●● 幼稚園) 保育園・認定こども園 → ●●● 学校・特別支援学校

取扱注意

▽年 ▽月 ▽日 記入・園名、電話番号 [●●● 幼稚園 ☎ ×××-××××]

記入者(職・名前) [~ ~ ~ ~]

(ふりがな) 幼児氏名	○ ○ ○ ○	性別	男	生 年 月 日	H. △年 △月 △日	障 が い 名	注意欠陥 多動性 障がい
保護者氏名	◎ ◎ ◎ ◎		女				
【保護者の願い】	通常学級で、友達と仲良く過ごしてほしい。			今後の学校生活で必ず必要な支援や配慮 について記入します。関係機関と連携して 支援すべきことも整理して記入します。			
現在の指導の状況、 できることや課題と なっていることを端 的に記入します。	取り組んできた内容と今後に向け			今後の支援や必要な配慮 ※ 関係機関と連携して支援すべきことは記載する			
	生活面	・保育の状況 ・現在できることと課題があること ・特徴的なエピソード ・衣服の着脱や、靴の脱ぎ履きが1人でできるよう に家庭と連携して取り組んできた。 ・大人に手伝ってもらおうと衣服の着脱はできるよ うになった。		・紐のない靴を準備する。 ・衣服の着脱など、生活に必要なサポートの方法 などについて保護者と共有する。 (関) できるようになったことは放課後デイサービ スと共有する。			
	行 動・性 格 感 情・感 覚	・集中力が切れてくると、衝動的に走り出すこと がある。 ・1つの活動を10分以内に行うようにしたら、上 記のような行動は少なくなった。		・1つの活動を10分以内で行うようにする。 ・体を動かしたくなったときの対処方法を子ども と一緒に決めておく。 (関) 衝動性を抑える薬を服用しているので、子ど もの様子などを医療機関と共有する。			
	場面やルール の理解	・順番を守ることができず、友達とトラブルにな ることが多い。 ・鬼ごっこなどの遊びもルールを理解できず、1 人で走り回っていることが多い。 ・イラスト等を活用し視覚的にルールを教えると、 理解できるようになった。		・視覚的な情報を活用するなど活動の見通しがも てるよう、1つ1つ丁寧に説明する。			
	友達や教師との関わり コミュニケーション	・友達とトラブルになった時は、1人になれる部 屋で気持ちを落ち着かせたあと、教員と一対一 で自分を振り返る活動を行ってきた。 ・自分の気持ちを言葉で伝えることができるよ うになってきた。		・大勢で活動する際にトラブルになることが多 いので、そのような活動が予定されている場合は、 見通しをもたせて参加させる。			
必要に応じて、現在の疾病等 に関する情報を記入します。	◇◇◇病院児童精神科から処方された◇◇◇(薬の名前)を毎朝服用している。 小学校入学後は1日おきの服用となる。			想定される行動を左側に記入し、そのた めに必要な支援を右側に記入します。			
合理的配慮の提供及び入学した直後の配慮事項等について							
想定される行動等				合理的配慮(○)及び必要な支援(・)(本人および環境)			
見通しがもてない場面で、不安感が大きくなり、衝動的な行動が 増える可能性がある。				○気持ちを落ち着かせるための小部屋を用意する。 ・事前に活動の内容を伝え、見通しをもてるようにする。			
そ の 他 の 情 報	(例) 家庭環境 ・父、母、弟(2歳と0歳) の5人家族。 ・4月から放課後デイサービ ス☆☆☆に通園する予定。	通 院 機 関	診断名 注意欠陥多動性 障がい 医療機関 ◇◇◇病院 (児童精神科)	障害者手帳の有無 ※○で囲む。 ・身体障害者 ・療育 ・精神障害保健福祉 取得(更新) 年 月 日			
家庭の状況などを記入します。							